

B-1 区分

小松川平井地区連合町会

江戸川区

第37回小松川平井地区総合防災訓練

実施期間	平成31年4月1日～令和元年9月5日
参加人数	約2,000名
事業費総額	約64万円

事業の概要

1. 住民が「自らの命と隣人の命を守るのは向こう三軒両隣で！」を合言葉に、絆を深めながら防災力を高める防災訓練
2. 一次避難所である管内小中学校10校において、名簿作成・応急救護・居住スペースの確保など、有事の際に各避難所を自分たちで運営できるよう実施
3. 体験型訓練において、VR防災体験・初期消火訓練・炊き出し訓練などを通し発災時の体験・対応を学ぶ

主な経費

謝礼金	看護師派遣
物品購入費	炊き出し訓練用材料、水分補給用飲料、避難所用ボード
役務費	振込手数料、保険料
委託料	手話通訳、会場設営・撤収

参加団体

環境をよくする小松川平井地区協議会、江戸川区役所、小松川警察署、江戸川消防署、江戸川消防団、国土交通省荒川下流河川事務所、日赤小松川分団、ファミリーヘルス推進委員会、さくらの家、江戸川聴覚障害支援センター、管内小学校・中学校・高等学校、ライオン株式会社、葛飾福祉工場、親和クリニック

事業の効果

●防災意識の向上

今年度から発災時に実際に避難所へ集まる地域住民を中心として、避難所ごとに訓練内容を検討・実施したことで、自主運営の意識が向上した

●地域のつながり強化

児童・生徒を加えた防災訓練を計画する避難所も現れたり、会議を定例的に開催することで、行政・学校・地域の連携がより深まった

フォトギャラリー

